

新国立劇場バレエ団 2014/2015 シーズンバレエ公演

白鳥の湖 Swan Lake

2015年6月10日(水)～6月14日(日) 全5回公演

新国立劇場 オペラパレス

チャイコフスキーの叙情的でドラマティックな音楽と多様な踊りで彩られる、美しい愛の物語。永遠に色褪せることのない、古典バレエの最高傑作が登場。

古典バレエ作品の中でも絶大な人気を誇る『白鳥の湖』。牧阿佐美元舞踊芸術監督が2006年に改訂振付した新国立劇場オリジナル版では、オデットの哀しい運命が浮かび上がるプロローグを付け加えたことにより、愛の物語がより陰影深く描かれ、第3幕ではカットされることの多いロシアの踊り・ルースカヤのシーンが主演級のダンサーのソロによって踊られます。また、イギリス人美術家カザレットによる現代的で洗練された色彩豊かな舞台は、より一層、この作品の持つ普遍的魅力を際立たせます。

何度観ても新しい発見があると言われる本作は、主演ダンサーたちの高いテクニックと深い表現力、コールド・バレエのアンサンブルの完成度など、バレエ団としての真価が問われる作品です。是非、新国立劇場バレエ団の‘今’をご堪能ください。



写真・資料のご請求取材のお問い合わせ

©新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 中尾久美子

TEL : 03-5352-5735 / FAX : 03-5352-5709



新国立劇場

NEW
NATIONAL
THEATRE
TOKYO

【あらすじ】

とある城の中。オデット姫が、ふと怪しい気配に気づいて振り返ると、悪魔ロートバルトが立っている。ロートバルトはオデットを白鳥の姿に変え、城から連れ去る。

ジークフリード王子の城では、王子の成人を祝って宴が催されている。翌日の舞踏会で妃を選び国を治めるよう母の王妃から諭された王子は、気晴らしに森へ出かける。そこで、魔法によって白鳥に変えられたオデットに出会う。永遠の愛をオデットに誓う王子。しかし、舞踏会でオデットそっくりの美しいオディールに出会い……。

＜作品、本公演のみどころ＞

世界中で最も有名なバレエ作品と言っても過言ではない、「白鳥の湖」。

叙情豊かなオデットと王子のグラン・アダージオ、純白のクラシック・チュチュに身を包んだダンサーたちによる一糸乱れぬ群舞、色とりどりの民族舞踊が次々と展開していくディヴェルティスマン、誘惑者オディールと王子が踊るグラン・パド・ドゥ、オディールの32回転のグラン・フェツテ・アントゥールナンなど、印象深いシーンが次々と繰り広げられます。チャイコフスキーの叙情的でドラマティックな音楽と見事に一体化したこれらの振付が、この作品の最大の魅力と言えるでしょう。また、新国立劇場バレエ団版では、主演ダンサーがオデットとオディールという正反対の女性、過酷な運命に翻弄されながらも王子との出会いに全てを賭けるオデット、奔放な誘惑者として登場するオディール、を演じ分けます。女性バレエダンサー憧れの「オデット／オディール」役を務めるのは、小野絢子、米沢唯、長田佳世の3名。新国立劇場バレエ団を代表する3名の女性ダンサーがどのように個性を発揮するか、興味は尽きません。また、国内外からの評価も高い、美しいコールド・バレエの踊りにもご注目ください。



◎キャスト

2015年6月	10(水) 7:00	11(木) 2:00	13(土) 2:00	13(土) 6:30	14(日) 2:00
オデット／オディール	米沢 唯	小野絢子	米沢 唯	小野絢子	長田佳世
ジークフリード王子	ワディム・ ムンタギロフ	福岡雄大	ワディム・ ムンタギロフ	福岡雄大	奥村康祐

【オデット／オディール】



米沢 唯
(10日・13日 14:00)



小野絢子
(11日・13日 18:30)

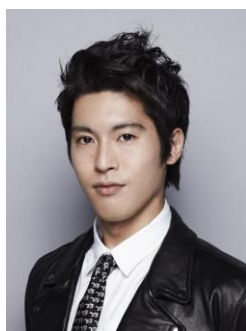


長田佳世
(14日)

【ジークフリード王子】



ワディム・ムンタギロフ
(シーズン・ゲスト・プリンシパル)
(英国ロイヤル・バレエ・プリンシパル)
(10日・13日 14:00)



福岡雄大
(11日・13日 18:30)



奥村康祐
(14日)

◎公演概要

【タイトル】	白鳥の湖
【芸術監督】	大原永子
【音楽】	ピョートル・チャイコフスキー
【振付】	マリウス・プティパ／レフ・イワノフ
【演出・改訂振付】	牧阿佐美
【装置・衣裳】	ピーター・カザレット
【指揮】	アレクセイ・バクラン
【管弦楽】	東京フィルハーモニー交響楽団
【出演】	新国立劇場バレエ団

【公演日程】

2015年 6月 10日(水)19:00 / 11日(木)14:00 /
13日(土)14:00/18:30 / 14日(日)14:00

【会場】 新国立劇場 オペラパレス (京王新線 新宿駅より1駅、初台駅中央口直結)

【主催】 新国立劇場

【料金(税込)】 S:10,800円 A:8,640円 B:6,480円 C:4,320円 D:3,240円 Z:1,620円

◎チケットのお求め・お問い合わせは

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場 Web ボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/> (PC、携帯共通)

チケットぴあ <http://pia.jp/t/> (PC、携帯共通)、

イープラス <http://eplus.jp/nnttballet/> (PC、携帯共通)

ローソンチケット、CN プレイガイド ほか

*新国立劇場では、高齢者割引(5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。新国立劇場ボックスオフィスまで。